

# 神山神社 祇園祭



●奉納 ●餅まき ●花奪い

◎毎年7月第三日曜日・午後3時から行われる、神山神社「祇園祭」

氏子の皆さんが、たんせい込めて作り上げた花笠が20本余り奉納されます。この花笠を氏子の皆さんで奪い合った後(花奪い)、それぞれ持ち帰られます。翌年まで災厄除けの祈願を込めて、それぞれのご家庭の神棚や玄関で飾られます。

また花奪いの後には餅まきが行われ、皆さん必死の形相で奪い合っていました。

◎信楽の最高峰笹が岳山麓に鎮座する神山神社は、素盞鳴尊(すさのおのみこと)さまを主祭神として、奈良時代の初めに創建されました。ご祭神は「建速須佐之男命」(たすけはやすさのおのみこと)とも称され、その字に「強さ」と「清らかさ」が込められています。合祀神の大山津見神(おおやまつみのかみ)さまは、山を司る神さまで、二神ともに「災厄除けの神」「生業の祖神」として、この信楽の地に鎮座しました。

伊賀国横山を含む信楽の本宮として多くの信仰をあつめ、江戸時代の末までは、神山神社の神輿が近隣に渡御を行う慣例が残っていました。現在は神座す神山の産土神として厚い崇敬を受けています。

改正道路交通法のポイント(抜粋)

**危険行為を繰り返す自転車運転者に安全講習の受講が義務化**

**軽く見れない!! 自転車のルール違反**

- ルール違反は、罰せられるだけでなく自らを危険にさらすことにもなります。
- また、事故を起こして歩行者にケガを負わせたりすれば、加害責任を問われることも少なくありません。



甲賀警察署